

公民館だより

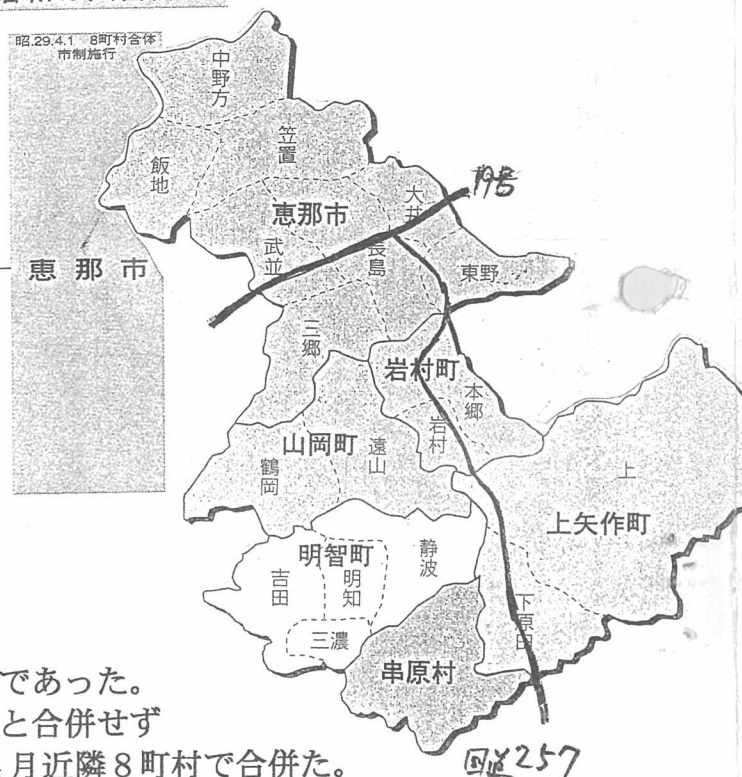
No. 85

ひがしの

2004. 12.

人口 1,799 人
(男) 886 人
(女) 913 人
世帯数 550 戸
(H16.12 1 現在)

旧藩名	明治4年当時	明治の大合併	昭和の大合併
古屋藩 族本(千村・山村)	大井村	明23.12.27 町制施行 大井町	昭29.4.1 8町村合併 市制施行
古屋藩	正家村 久須見村 中野村 永田村 東野村	明22.7.1 4村合併 長島村	明31.12.14 町制施行 長島町
村藩	佐々良木村 野井村 棕実村 藤折村 竹折村 毛呂窪村 姫栗村 河合村 中野方村 飯地村 (加茂郡)	明22.7.1 3村合併 三郷村 明30.4.1 2村合併 竹折村 明30.4.1 3村合併 笠置村	明33.5.24 名称変更 武並村
木藩		明3.4 潮見村分立 飯地村 明3.4 潮見村分立 潮見村 (加茂郡)	昭和23.4.1 恵那郡編入 飯地村 現八百津町へ



東野----

江戸時代には岩村藩に属する一つの藩制村であった。

明治22年全国的合併の際には他の町村と合併せず
1つの村として存続し、昭和29年(1954)4月近隣8町村で合併た。

その頃の東野は

面積=17.35 平方 km、内山林 1,223ha、田 165.2ha、畑 32ha、その他

世帯数= 371 戸、人口 2,012 名 (男 985. 女 1,027)

農家=320 戸、専業 193、1 種兼 193、2 種兼 36。養蚕=166 戸、収繭量 6,46 貫

教育= 小学校 272 名 (男 136、女 136) 中学校 124 名 (男 57、女 67)

文化、交通= ラジオ 193 台 (52%)、トラック 1 台、小型自動車 1 台、

三輪自動車 3 台、オートバイ 2 台、軽 2 輪車 15 台、自転車 380 台、

荷車 108 台、牛馬車 72 台、リヤカー 105 台 (何れも 29 年度資料)

当時の世相は、・第五福竜丸「死の灰」あびる、・津軽海峡で洞爺丸転覆、
ヒット曲では「お富さん」他「原爆許すまじ」、映画では「二十四の瞳」「7 人の侍」
あれから 50 年、今回の平成の合併は (東野から見れば) 国道 257 (岩村街道)
を介し比較的交流の深かった恵那南部との枠組みとなり違和感もなく、むしろ
旧恵那市との中間に位置することとなり明智町 (大正村)、岩村町 (江戸村)、
山岡町 (ヘルシータウン)、上矢作町 (福寿草)、串原 (中山太鼓) など、それ
ぞれの 特徴を生かした “まち” の姿を見る機会が出来楽しみが増えた思いが
する。

明知鉄道に乗って 1 日旅も面白い

文化祭を終えて

文化祭実行委員長 勝野信夫

本年度の文化祭を十一月六、七日に実施致しました。公民館講座の作品発表の場でもある文化祭に、数多くの「書」「画」「工芸」を出品していただきました。

作品を見ながら、ごなたも忙しい日々の中に、時を見出してコツコツと作品を仕上げられた努力が、ありありと感じられ、正に「忙中閑あり」の言葉どおりと思いました。

東雲会の皆さんも余暇の活用に書画をたしなまれており、見習うべきだと痛感いたしました。

特別展は「東野地区に残る書」をテーマに現在所蔵されている方々のご協力を得て数多く展示する事が出来ました。

特に東野の森林事業を指導された金原明善翁の格言の書に感銘し、忘れてはならない人として再認識しました。

二日間の展示に多くの来館者があり、親しく案内、談話が出来るうれしく思いました。

少々残念なのは四、五十代の来館が少ない気がします。忙しい年代で文化の対するエネルギーを温存している時期かとも思いました。

音楽祭も、多くの来場者があり、特に地区外からの来場が目立ちました。

曲目も多く、皆さんに満足してもらえたと思いました。また「心晴歌」の皆さん、小学校の生徒さん素晴らしい発表会でした。

歌舞伎(十月二十四日)に始まった文化祭、東野

の伝統文化が、多くのファンに支えられ、出演された方たちも、練習の苦勞が報われたことと思います。

三年間、文化祭

担当出来たのは皆様の御協力のおかげでした、感謝の気持ちでいっぱいです。

本当にありがとうございました。



東野文化祭に思う

文化祭実行委員 小坂 千花

歌舞伎、作品展、音楽会と一連の東野の文化祭に実行委員としてかかわって数年が経ちました。

特に、「特別展」の担当として五年程は、何を展示したらよいのか悩みながら、実行委員や事務局の方々に助けていただいていた行なうことができました。

東野の特色、東野の良さを住民としてほこりに思えるものは何だろう、何を展示したら、多くの方々に見に来ていただけるのだろうか、東野

在住の方々の趣味や特技(公民館講座の受講生以外で)を持ってもらえる方々の作品をどう探し出したらいいのだろうか。種々考えて、「特別展」の内容を決めるのに本当に困りました。

文化祭が行なわれる一ヶ月程前の実行委員会で、特別展のテーマが決まると一安心です。その年々のテーマにそって展示物をかりていたり、見やすいように展示する事を考えたり、作品が運び込まれ、展示するまで気がぬけません。

いよいよ作品展がはじまり、皆さんが見に来て下さると、やれやれです。見に来て下さった方が、一つ一つの作品の前でじつと見入っておられると、これでよかったのかなと胸をなでおろします。

特に、身近な方々や知人の方々の作品ですと、見学者が話しかけて来られ、お聞きしていますと、「この人は、まだちがった特技をもっておられる。」とか、「この人(又はこの種)の作品ならうちにもあるし、〇〇氏も持っておられる。」などといういろいろな情報が聞かれます。そんな時、「お宅の作品も今度出して下さるとありがたいのですが。公民館だよりで、出品していただけるよう案内がりましたが、ご覧になられましたか。」と言いますと、「そうやったか、見とらなんだな。」と言われる方が半数位おられました。やはり、一人一人(一軒一軒)の事をよく知っておられる東野生まれで、東野育ち、東野在住の方が、特別展を担当されないと無理だなと自分の無力さを痛感する事が多々ありました。

何はともあれ、毎年盛大に行なわれる文化祭ですが、今年も無事終ってほっとしております。

寄稿

東野住民ふれあい体育祭の思いで

体育祭運営委員長 土方 康彰

振興会で、運動会の担当をさせていただき今年で3年目になりました。

今年は29回目、来年は30周年の年となります。しかし、すんなりここまで来たわけではなく、昨年は継続か廃止かを検討するために、自治会長会議を数度開催いたしました。

高齢化の問題、体力的な問題、参加人数の問題がかなり伯仲した議論になりましたが、東野運動会は東野の人たちが集まる数少ない機会であり、競技を通じて多くの人とふれあえる絶好の機会であるので、今後とも継続していこうということになりました。

名称も“ふれあい”の文字を入れ、東野住民ふれあい体育祭になりました。

実際に競技を見直して見ると、かなり体力の必要なもの、見ていて退屈なもの等を検討し、“マレットダーツ”“東野ギネスに挑戦”等が新たにデビューしました。

又、少しでも多くの人とふれあえる意味から、紅白の組分けを、県道を中心に南北に分け、内容も競技性を低くし、年齢制限を廃止してきました。

今年は、偶然に小学生全員に参加をして貰い非常に有意義だったと思っています。

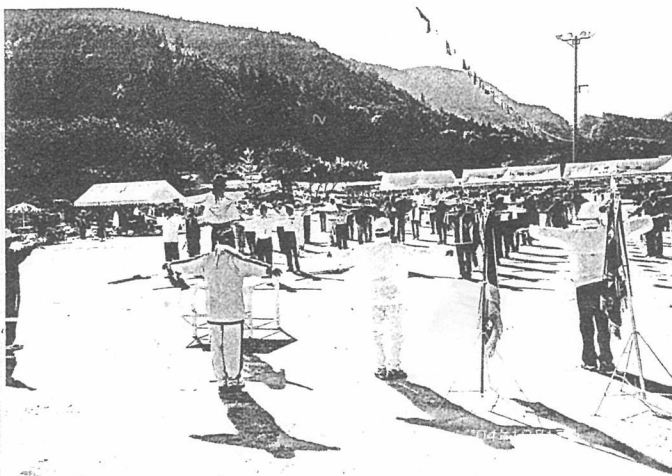
7月から体育祭の準備にかかり、実行委員会を立ちあげる訳ですが、その時期は々と義務感だけで動いていました。

9月に入るとほぼ内容も決まって来て、自分でもイメージがつかめてくると、結構楽しくなってきました。

協力いただく人たちがこれほど多く必要だとは思っていませんでした。

天候にも恵まれ、プログラムも最後までこなせることができました。

体育祭を終えて思ったことは、個人個人が忙しい今の時代に、地域でこのような事を続けることは時間的に障害があるかもしれませんが、人と人とのつながりを作り、それを活用し、大きな力を生み出していく事が非常に大切な時代になっているような気がします。



市民講座

「プリザーブドフラワー」を受講して

伊藤まつ子

プリザーブドフラワーがどんなものかも知らず習い始めて三回目が過ぎました。

第一回目、ひとつの花を仕上げるには、小花をひとつひとつワイヤーとフローラルテープでまとめていくのですがなかなかこれが大変でした。

プリザーブドフラワーとは、生花に特殊な加工方法をほどこしてあり、いつまでもそのままの型、色が残せるそうです。今はまだ日本には少なく多くの材料は輸入物ばかりなので一回の材料代はちよつと高価ですが、何年もそのまま生きている花のように色も型も残しておけるのがうれしいところです。

第二回目は、クリスマスリース作りでした。

カーネーションを加工したものでとてもやわらかくふわつとしていて生花と見まちがえるほどのです。ドライフラワーとはまったくちがうものだということがわかります。

第三回目は、お正月のしめ縄飾りです。お正月に飾られるしめ縄とはちよつとちがった雰囲気を感じられるとてもおしゃれなものになりました。

こんなふうに、私が想像していたものとはまったくちがった型のものが出来上がっていきとても楽しみです。

あまり、おしゃれすぎて、どこに飾ったらいいのか困ってしまう時もあります。

材料が自分で簡単に手に入り好きな型の物が出来るようになるのと楽しさが増してくるのかもしれないませんが、まだまだ無理のようです。

新し挑戦、次回の講座日が楽しみです。

七十余年「歌舞伎役者」初体験

東雲会 神谷 昭吾

例年通り東雲会から一人出演との会長からの依頼があり、私としても苦慮しながら引き受けたが、それから大変であった。

まずは、台詞を作り、それなりに覚えなければならぬ。

日がせまってくる、ますます緊張してくる。

前日のリハーサルの日にも、なかなか台詞が言えない。

当日は、朝早くから緊張して、自分のホースも一時間おきに少しずつ出なくなってくる。体が硬くなる。四時間前から顔に化粧を付ける。衣裳を着ける頃には頭の中がボーっとしてくる。髪を着けると体が硬く、気も硬くなり、いざ本番になるとますます緊張し、手の平に「人の字」を書いて一気が呑む。

幕が開き出番だ。まず前の人について出て行くことが精一杯だ。

舞台の真ん中に立つ。普段かけているメガネをとっていたのと、緊張とで、目の前が暗くしてみえない。

前の三人が名台詞を長く長く語る。気がイライラしてくる。

さて、自分の台詞の番だ。カッコ良く言いたいものだと、思えば思うほど、頭の中が真っ白になる。「次に控えますのは・・・」までは良かったが、次が出ない。自分としては

「次に控えますのは東雲会代表、神谷でございます。」

東雲会は、

話し合い、支え合い（この言葉がなかなか出てこない）元気で、楽しい東雲会

多くの方の参加を願っております

私は、岩村城下大円寺（忘れてしまつて出てこない）にて、この世に生を受け 七十余年

四十四年に この地「東野」に移り

皆々様に、ひと方ならぬお世話になり今に至っております

〇〇〇〇〇〇（途中忘れて出でこない）

今後共、この地に骨をうずめるまで

夫婦共々、よろしくお願い申し上げます

間違いだらけの台詞も終わり、一気にほつとした。これが私の最初で最後の「初体験」であった。

この度、歌舞伎に出させて戴き、ひとつの事を行なうという事は、大変だ。裏方さん、役者、それを支える人、多くの人たちがこの歌舞伎を支え、保存しようとしていることを強く感じ、感謝しました。これからも若い人、子供達に伝承し、この体験をすることが、人を動かし、人を愛することにつながると思います。

初体験、ありがとうございました。



皆様には益々御清祥の御事と拝察申し上げます。

十月の東野歌舞伎公演に際しましては過分なる協賛金を賜り心より感謝申し上げます。

お陰様で年々盛会となり、これも偏に皆様方のご支援によるものと厚く御礼申し上げます。

今後もこの地域振興の一環として伝統ある地歌舞伎の伝承に尽力致し度存じますので何卒宜敷くお願い申し上げます。

又来年の公演もこの時期（十月第四日曜）を予定しておりますので是非、同年または地域、或いは活動団体などの仲間等で一幕といわず幾幕かを演じていただきたいと思います。

お正月のお集まりの席などで話題にして下されば幸いに存じます。

尚、来年二月二十七日には恵那文化センターにおいて、恵那市伝統芸能大会が行なわれ、東野歌舞伎保存会からも一幕参加することと致しております。ご来場の上激励くださいませ。先ずは御礼方々お願い申し上げる次第であります。

合掌

平成十六年十二月

東野歌舞伎保存会

会長 伊藤秀幸

むらわたい

その一 東野OB会行事 (十月二十八日)

東野在住の国職(郵便局、旧国鉄、NTT含む)県職市職、学校職の退職者有志で構成された「東野OB会」により東野駅周辺の美化活動が行なわれた。

当日は会員の内二十三名が周辺の草刈り、ごみ拾い、桜の木の整枝等二時間の作業でした。

二十数年前より続けられている活動で当時植えられた桜も大木となり活動の永さを物語っているようです。

その二 冬桜

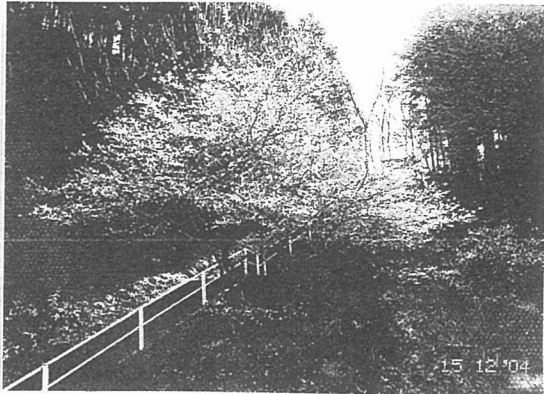
気づかれた方も多いと思いますが、今年の冬桜は美しく見えます。

暖かい冬のせいかもしれませんが、昨年も紹介しましたが、東野地内でも茄子川農道東邦バック工場前、ハイカラ橋南、向島阿弥陀様登り坂、小学校慰霊塔前で見られます。

種類、呼び方には、寒桜、冬桜、四季桜、十月桜などがあるようです。

春咲きの桜のような華やかさはありませんが、花の少ないこの時季、足を運んでみては……

このうち阿弥陀様登り口の冬桜は背景もよく一見の価値があると思います。



その三 千藤猛司さん「緑白緩有功賞」受賞

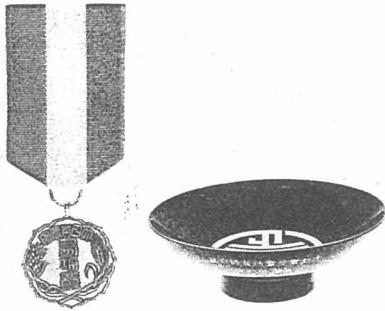
この賞は(社)大日本農会(明治十四年設立、会紙「農業刊行等」が明治二十七年から農事功績者表彰事業を始めたもので、今年で八十八回を数えるものです。今年は全国で五十七名が歴代総裁宮殿下(現在は桂宮宣仁親王)の御名により表彰されました。

表彰事由(要約)

・新品種の育成と新技術の導入によるシクラメン種苗、鉢物生産に他品目を組み合わせた花卉生産の確立。

・地域のリーダーとして新技術、新品種、品種の導入による花卉産地の形成及び青年農業者の育成に貢献

一見華々しい賞ではないかもしれませんが農業関係では歴史のある大賞であります。おめでとございました。



社団法人 大日本農会

すくすくクラブ

みんなが楽しみなクリスマス会を十二月十七日に開きました。

今年は、東野幼稚園の園児と一緒に「人形劇サークル くれよん」のみなさんの人形劇を見ました。手作りのかわいらしい人形が動く様子にみんなくぎづけでお行儀良く見られました。

人形劇の後はお楽しみ会です。今年は料理教室「シヨウブ会」参加のため、たまたま公民館にいらした、西尾順夫さんにサンタさん役をお願いしました。

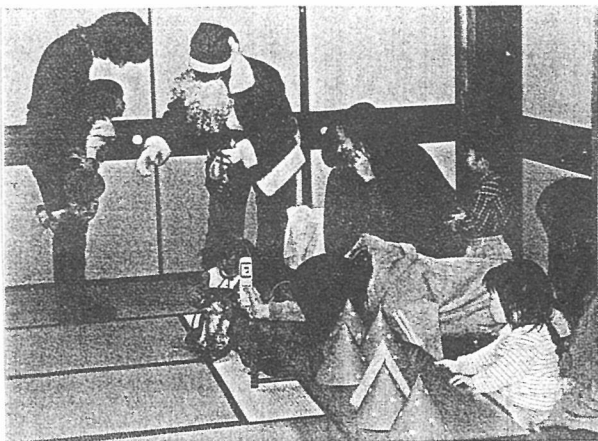
サンタ姿の西尾さん、「シヨウブ会」の皆さんに見送ってもらい、「サンタさん」と呼ぶかわいらしい声が聞こえる部屋へ。

「みんな、おりこうにしとるか」と、サンタさん登場にみんな大喜び。一人づつサンタさんからお母さん手作りの入れ物に入ったプレゼントをもらい、きちんとお礼も言えました。

そんな子供たちの様子に、西尾サンタさんもお母さんもニコニコ顔。

サンタさんが帰る時子供たちは名残惜しそうに手を振っていました。

心温まる楽しい集いでした。(か)



十六年度

恵那市市民祭（文化部門）入賞者（東野分）

美術展

日本画

洋画

彫塑・工芸

書

写真

高齢者作品

文芸の部

短歌

市長賞 依馬 英子

教育長賞 若尾 義弘

奨励賞 今野 孝美

教育長賞 渡辺 泰江

市長賞 丸山 年道

奨励賞 三宅 一嘉

努力賞 伊藤 武徳

金賞 長谷川三千夫

人 土方紀代子

草取りを地球の皮剥ぎと教えたる

師の逝き昭和の夏遠ざかる

入選 鈴木喜一郎

思想ゆえ死にゆくことの易き日よ

軍靴変形し土蔵にありぬ

俳句

秀逸 内木伊都子

神嶺の眩しくみえる今朝の秋

々 河村英子

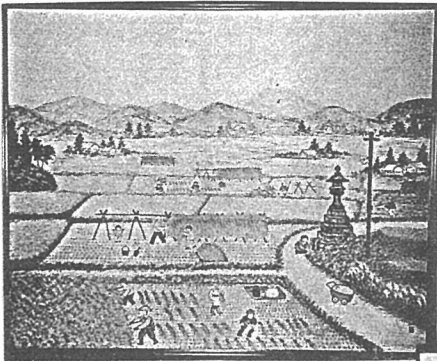
一村を養う山湖水澄めり

入選 千藤ふさえ

廃業の倉庫に釣るす軒忍ぶ

々 千藤恵三

大賀蓮明日咲く蕾どれとどれ

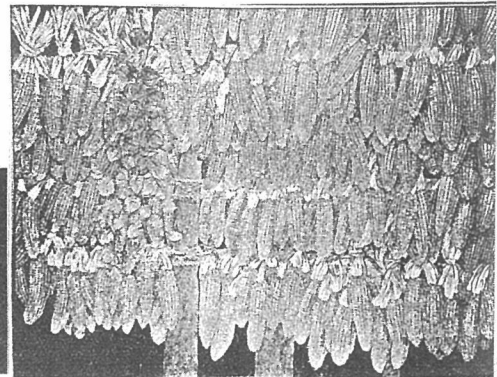


望み秋
日曜日は朝から
稲刈りのお手伝いだ
父さんたちには勝てないが
汗を流してがんばった
澄んだ青空に
赤とんぼが飛ぶ姿が
カン高い声でそぞろ鳴く
うげ車の赤い影は
どんな夢を見ているか
孫の子守りのばあちゃん
皆の幸、祈っています
三千夫

長谷川三千夫さん



渡辺泰江さん作品



依馬英子さん作品

文芸

（十一月の作品から）

花無山句会

父母とあぶりて食べし鵜かな

ふるさとの旬の味覚は鵜なり

新蕨の香る囲炉裏の客となる

鯉の郷山古志村に冬近し

書道展菓子柿の葉に盛られけり

一日の疲れを払うおでんかな

地震にて岩につぶされ秋の墓

わが齢噛みしめながら新生姜

短日や今日の予定を残したり

満願の叶いし安堵紅葉茶屋

昨日主婦今日は役者に村芝居

鈴木抱風子

々

市川茶山

市川芳子

伊藤道子

伊藤靖代

伊藤ひろみ

西尾美恵子

土方ちかえ

松本はるか

千藤恵三

サークル短歌

純愛は死語となりたる日本に

冬のソナタの曲は流れる

俸せを君は貯金したと言ひ

空の故郷さがして行けり

鈴木喜一郎

四季桜咲く街道を友と行く

母の生まれし串原の村

四季桜咲く阿木川ガムの石段に

雪の御岳ありありと見ゆ

市川茂子

虫食いのもみじ一葉をあらためて

旅のノートに挿し込みたり

人気なき真昼の畦を歩きおり

わが影写すひこばえの田の

赤尾袈夫

—JRウオーク記—

今年も「JRウオーク」のお客さんを迎えることとなった。

関係者（公民館協定会、虹の会、地域を美しくする会）による打ち合わせ、昨年の体験を踏まえ準備に入る。

十一月二十八日はあいにく市長等の選挙投票日となっており休憩所の位置を協議し、やむなく農協前とする。

まず「地域を美しくする会」（代表三宅正美）では事前にコースの美化をやっていただけることになり感謝。

「虹の会」は昨年好評であった五平もち、豚汁、ぜんざい等。「協定会」では、お茶のサービス、他コーヒ―、甘酒、古代もちなど―と役割分担。更にコースの途中に新たに「山本風穴」を入れ、そこでの案内を長谷川多平さんをお願いする。

トイレ、ペーパーを事前チェック。

さて当日、この季節にしては珍しい暖かい日和…… テント、休憩用椅子、トイレ案内板、ゴミ箱、OK、

九時頃になるとお客さんが来る、この時間帯はコーヒ―、甘酒などの軽い飲み物の注文が多い、時間を追って五平もち、豚汁などと賑わっていく……午後二時過ぎまで人、人が続く、昨年歩いた人

○「昨年は遅く来たら（食べるものが）何も無かった、今年は早めに来た」。

○「トンネルを歩くのは辛い、わき道があるといいが」。

○「山本風穴で案内説明をして戴いてよかった」

スタッフが昼食を取ったのは交代でやつと

二時過ぎ……

片付けは三時過ぎであつたらうか

後で聞くと当日恵那駅を降りて参加した人は二千二十四名（昨年二千六十名）とのこと。

事故も小言も無く喜んで次の目的地へ送ることが出来た。

労を惜しまず協力いただいた皆さんとまずはやれや……。

少々疲れても清々しい一日が終った。



長谷川雅通様より

社会福祉協議会東野支部へ

亡母富貴子様の香典の一部として二十二万円寄附されました。

東野支部では有効な活用を考えておられます。

公民館清掃

今年も日頃公民館を利用されているグループの皆さんにより館内の清掃をやっていたいただきました。

○ アヤメ・ショウブの会

日頃使用されている調理室の食器棚、

ガスコンロ等の拭き掃除

○ むつみ会（大正琴グループ）

館内トイレ、机等の拭き掃除

○ 虹の会

調理室全体の掃除

ありがとうございました

図書寄贈

土方紀代子さんより「ふるさとの家庭料理」十巻（十冊）寄贈いただきました。

全国三百五十地点で、お年寄りに聞いたふるさと料理、我が家の味、今こそ食べたい、作りたい郷土料理の本です。

東野の「五平もち」「からすみ」「花くさもち」など紹介されております。出来上がった料理、美しい器を写真で見ると楽しい。ご覧下さい。

ありがとうございます

休館日 (変更の場合あり、
事前に確認ください)

1月 1日～3日・11日・
12日・17日・24日
2月 7日・12日・14日・21日・
28日
3月 7日・14日・21日・22日・
28日

16年10月25日新「恵那市」の発足に伴い
今までの「東野事務所」が「東野振興事務
所」となりました。事務内容は今までと変
わりませんが新たに「死亡届」を受付ける
事となりました。

事務所長 藤井達朗

次 長 藪下ひろ子(明智町より)

(前事務員 伊東美穂は退職いたしました)

公民館は今までと変わりません

1～2月の東野公民館催し案内

その1◆年賀状展◆

1月15日(土)～30日(日)

珍しい賀状、工夫された賀状お貸し下さい。

その2◆書き初め展(青少年育成会議)◆

1月15日(土)～28日(金)

表彰式 1月28日(土)午後3時30分

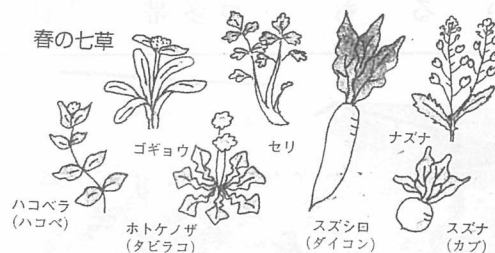
その3◆講演会(青少年育成会議)◆

講師 長田百合子

演題(予定)「親がかわれば、子供もかわる」

2月27日(日)

七草粥(1月7日)に使われます



選挙と投票率

今年11月28日新市の市長及び市会議員の選挙が行われ、それぞれの投票率等は次の通りでした。
いずれの率も女性が高い。市議選では光岡克昌氏が当選されました、おめでとうございます。

選挙の種類	東 野 投 票 区						恵 那 市 全 体			
	当日有権者数(人)		投票者数(人)		投票率(%)		投票者数(人)		投票率(%)	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
市長選	1,410		982		66.80		36,389		79.56	
	719	751	468	514	56.09	68.44	17,079	19,310	78.23	80.77
市議選	1,470		982		66.80		36,387		79.55	
	719	751	468	514	65.09	68.44	17,086	19,301	78.26	80.73

あとがき

○ 年末になると一年の世相を象徴する「今年の漢字」が決められる。これは全国からの公募で決められるそうです。

京都の清水寺で発表され、今年は『災』となった。中越地震、日本に数回上陸した台風などの天災、子供による殺人事件、幼児虐待などの人災、更にイラクでの人質殺害など、頭に残る。

八月にテレビ、新聞で沸いたオリンピックでの史上最多のメダル数、また紀宮様のご婚約などが小さくなってしまったようである。

私たちの周りにも大なり小なり「とんだ災難」が起こりうる。最近の泥棒、車上狙い。要注意

「災」「禍」……ことわざから

災いは口から……おしゃべり、「ここだけの話」は慎まねばならないことも

災いは福……災難も時には幸せのもとになることも

災い転じて福となす……禍にくじけず、うまく処理して、不幸をヒントに新しい発想を起すことも

○ 東野一村一寺「宗久寺」の晋山式、授戒会、小雨の中肅々と行われ大願成就、実行委員長「雨降って地固まる」と謝辞。

○ 開振振興会臨時総会、八十名近くの出席者で、熱気むんむん……「福」となすか
みなさまよいお年をお迎えください (千藤記)